

平成 30 年 4 月実施—議会報告会・意見交換会まとめ

場 所：清 水 地 区（平成 3 0 年 4 月 1 1 日）

総務環境常任 委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
スマート IC IC カード 道 山北・藤野線	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート IC の実態調査に係る観光客の受け入れ態勢をどのように考えているか。 ・スマート IC 周辺の公共施設の活用と中川荘跡地利用の考えは。 ・ユーシンプルーの今後の活用方法は。 ・IC カードの利用範囲を国府津駅まで延ばしてほしい。 ・IC カードは H31 年から使用できることは良いが、第二弾として、国府津駅でも使えるようにしてほしい。 ・IC カードの導入は、東京方面から御殿場線に入るつながりを含めた進捗状況はどうか。 ・道志村まで道路をつなげてほしい。 ・イベント時の渋滞解消や、災害時利用に山北・藤野線、秦野峠林道、山北・山中湖線等を開放してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国府津駅でも使えるように引き続き要望していく。 ・エリアをまたいでの IC カードの利用は JR 東海、JR 東日本だけの問題だけではなく国の施策が主導して欲しい。難しい状況である。 ・3 1 年春までに御殿場駅から下曾我駅間で利用できることは一歩前進である。 ・道志村との道路（山北・藤野線）や秦野峠林道の利用は、議員間で連携をとり、今後も要望していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーシンの活用は、林道整備が一番なので、町を通じて県と協議する。 ・御殿場線の IC カードの利用促進は、2 市 6 町の議員連盟で活動している。来年の春には下曾我駅まで使えるようになる。今後、国府津駅まで使えるよう要望していく。 ・IC カードでエリアをまたいでの利用は難しい状況にある。今後、御殿場線沿線市長・町長・議長で構成する御殿場線利活用推進協議会とも連携して要望していく。

公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の免許証返納が、義務付けられると、移動手段がなくなる。 ・御殿場線は、大雨注意報が出ると、電車が止まってしまい不便だ。 ・地域で谷峨駅の桜と周辺整備をしたいが、JRの許可が取れない。 ・住民から駅周辺の桜が大きくなり過ぎて切ってほしいという意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山北駅周辺の桜も同じような問題を抱えている。地域の声として、まずは自治会要望に出してほしい。 	
移動販売車	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は民間の移動販売車があった。議会として先進事例を視察するなどして、調査はできないのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くで、食料品などの購入が難しい買い物弱者支援策の調査・研究を行っている。
地域づくり 定住	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等を実施しても、後に続く若者が育たないのが悩みだ。 ・将来の人口予測は出来ているのか。 		
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪く、働き場所がないため若い人がどんどん出て行ってしまふ。働き場所を作ったらどうか。 ・働き場所がないのではない。現に、東京、横浜へ通勤・通学出来ている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・若者の減少に伴い、人口が減少している。町も様々な対策を講じているが、議会としても先進事例を研究するなど、協議していかなければならないと考えている。
鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害に係る人件費の助成金を出してほしい。 ・地元の猟友会の会員がいなくなること 	<ul style="list-style-type: none"> ・町側に提案していく。 	

<p>ジビエ</p> <p>ヤマビル・マダ</p>	<p>が心配。外部の応援部隊でやりくりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ猟の効果は大きいですが、捕獲後の処理が問題でジビエとしての活用が難しいと聞くが現状はどうか。 ・捕獲奨励金3,000円はありがたいが、もっと使いやすくしたり、他県のように奨励金の増額が必要ではないか。 ・丹沢湖周辺の猿の被害が拡大している。対処方法はあるのか。 ・町の補助金は一頭3,000円では少ない。せめて10,000円は欲しい。運び出す手間も時間もかかる。 ・清水の鳥獣被害は、鹿、猿、猪であり、鹿は茶畑、猪はタケノコへの被害が多い。 ・今のところ猿の人的被害はないが、ロケット花火程度では追いつけない。 <p>・進めてほしいが規制が厳しすぎて何もできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マダニの被害はまだ聞かないが、神縄や清水地区全域では発生している。共和で実施した火入れはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食用やペットフード等に活用するための課題に対して先進地を視察して検討している。 ・猟友会で、交渉すべき問題点をまとめることが先決ではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・猿の被害も鹿・猪被害と同じように、行政に報告するよう、努めたらどうか。 ・捕獲(殺)、奨励金を県に訴えて行くことも必要。 	
---------------------------	---	---	--

観 光	・ シーズンオフには観光客が来ない。		・ 観光客の増加には、特色ある自然を全面的にPRしていく事が重要であると考ええる。
土地利用	・ お茶やミカンが就農者が少なくなっている。 ・ 森林が多いので山の有効活用を考えるべきだ。		・ 90%が山林を占める当町にとって、林業の活性化は必要であると考ええる。
ふるさと納税	・ 昨年度のふるさと納税の収入が6億～7億入っている。増えた要因は。		・ 返礼品の開拓や、民間業者を利用したPR効果が要因と考える。
防犯・安心メール	・ 2月に谷峨で傷害事件が発生した。犯人は逃走しており、情報を知りたかったが、安心メールは出されなかった。なぜ流さなかったのか。	・ 安心メールで流すには、情報の選択があり、流す事で別の問題が起こることも考えられ、難しい状況だった。	
河内川の河床整備	・ 河内川の河床整備に、丹沢湖浚渫の砂利をダム下流域へ置いてほしい。ちゃんとした石、砂利であれば漁協も容認できると思うがどうか。 ・ 安戸の堰堤にらせん状魚道を。	・ 河床整備は河内川の課題であり、県土木や町と十分協議していくことが重要である。 ・ 先ずは酒匂川漁協として意見をまとめるべきである。	

福祉教育常任 委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の利用者はどのくらいか。 ・国保の財政が厳しくなっているため、入院してもすぐに出されてしまう。 		
在宅	<ul style="list-style-type: none"> ・家での歩行が困難になった場合に、利用できる器具等のカタログを包括に置けないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括センターにご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町を通じて伝えるが、地域包括センターにも相談する。
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多い山間地に、出張投票所(車)を用意してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・期日前投票の事だと思うが、要望としてお聞きします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙に関する管轄は、選挙管理委員会だが、現段階では難しいとの回答があった。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎バスを利用した時に、福祉課と社協との連携やコミュニケーションが悪いように感じた。 ・山北町にはコーディネーターはいないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察先の長野県飯綱町では、第三者としてコーディネーター2名を配置している。各種団体との横のつながりや新規事業の開拓など地域福祉の連携を進めていた。強力なリーダーシップを発揮し、地域福祉、介護医療連携を進めていくことが、上郡の介護医療連携に繋がり、地域包括支援センターの発展的な活動に繋がっていくと考える。 	
人口対策	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者を抱えた家族が住み易いまちにすることで、移住してくる人のアピールになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児に対する制度は色々あるが、持ち帰って検討することとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシー・住宅設備改良助成・施設通所交通費助成など12程の支援事業がある。世帯の所得

<p>学校関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児の学校卒業後の働く施設、生活していく環境の整備が町にできていれば、家族ぐるみの移住に繋がっていくと思う。 ・ 清水や三保の学校跡地に障がい者が集う場ができないか。 ・ 清水地区の保育園児の送迎をスクールバス等の運行の中で出来ないか。 ・ 学校がなくなったことで清水地区は衰退していった。子育て世代が一度出てしまうと地域には戻ってこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の設置基準から難しい。 	<p>額や障がいの程度などにより、受けられる内容や負担額が異なるため、担当課へご相談いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の送迎には、職員の引率が必要であり、現段階では難しい。
-------------	---	--	---

あり方検討委員会関係	参加者意見	当日の答弁	調査結果
議員定数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定数を減らして給料を高くしてやれば良いのではないか。4人減らし、2人分をみんなで分ける。 ・ 前の議会で減らそうとしたが、反対で減らせなかった。 ・ 山北の収入が減っているのに、税金を上げることができないか。議員を10人にするにはどうしたら良いのか。 ・ 兼業ありにすればいい。 ・ 地域から出るのではなく今のままでよい。 ・ 人口比で出すのは、ナンセンスと思う。広い面積で町民の意見を吸い上げるには、今の定数でいい。12名で出来るのであれば12名で良い。地域代表ではないと思う。 ・ 議員のなり手不足の原因は独り者の増や若者の流出もあるのではないか。地域の広さや、地域から選出等従来の考え方とは違う考えで取り組んでいく必要がある。14人が適正かは十分検討して欲しい。やることがあれば削減する必要はない。 ・ 地域性を考えると清水地域から最低2人必要。町内で小選挙区制のような地域割りにはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員に対して関心がないのか。 ・ 一度減らすと増やすことができない。 ・ 現状は若い人は出られない 	<p>あり方検討委員会で検討している。</p> <p>・ 議会として検討中である。</p>

議員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員間連携、情報共有を強化し、どの議員に聞いても様々な問題に対処できる定数にしておけば、議会や議員の資質の向上にも繋がるのではないか。 		
その他	参加者意見	当日の答弁	調査結果
議会への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回議会報告会に参加しているが、話の内容が全然進まない。もっとスピード感をもって仕事してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住促進につながると考えるが、すでに借りている民間駐車場の利用者との調整や御殿場線利用者の減少、山北3駅の賑わいへの影響などの課題が出てくる。今後は、鉄道やバスの輸送力増強に取り組むとともに、駅周辺の賑わいなども念頭にいれながら新たな交通手段の検討をしていく。
町営駐車場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤者にとって、御殿場線は夜の接続が悪くて不便である。新松田駅周辺に町営駐車場を設けたらどうか。 		
車座集会	<ul style="list-style-type: none"> ・ このような車座集会で良い。 ・ 非常に良い取り組み。これまでは意見もなかなか言えなかった。今後も是非このような活動を続けてほしい。そうすれば議会や議員の本質もわかるのではないか。 		
自治会要望の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町広報で各自治会要望の実施状況を知らせてほしいが、自治会要望として出せばよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の意見として、出すことが良いと思う。 	